

JC-SAT2011報告

電子情報通信学会 衛星通信研究専門委員会
委員長 加藤寧（東北大学教授）

1. 概要

JC-SAT2011は2011年12月12、13日に愛知県名古屋市の名古屋大学にて開催された。当初JC-SAT2011は宮城県仙台市にて10月の開催を予定していたが、3月11日の東日本大震災の影響を考慮し、会場及び開催日程を変更しての開催となった。

JC-SATはJapan-Korea Joint Conference on Satellite Communicationとして、10年以上にわたって電子情報通信学会通信ソサエティ衛星通信研究専門委員会(SAT研)と韓国のKorean Society of Space Technology(KOSST)の共催により、日本と韓国の衛星通信研究者間の情報交換、相互理解の促進を目的として開催されてきた国際会議であるが、JC-SAT2011では、上記の日程変更により、韓国KOSSTメンバーの調整が困難となり、今回に限りSAT研による単独開催となった。KOSSTとの共催については、2012年以降も継続することでMOUの締結も行っているが、今回、招待講演として中国、カナダ等からも講演者を招待し、今後は日本と韓国だけでなく、より国際的な議論の場として発展させていければと考えている。

JC-SAT2011では2日間で6件の招待講演と20件の一般技術講演が行われた。参加者は延べおよそ60名であった。



▲本年度JC-SAT優秀論文賞受賞者の赤石明氏(左)と加藤寧委員長(もう一人の受賞者富樫洸氏はご欠席)

2. 講演について

本会議では以下に示す衛星に関わる幅広い分野にわたって招待講演6件を含む26件の講演が行われた。

- Satellite position and navigation
- Satellite communications for large-scale disaster mitigation
- Small and nano-satellite
- Amateur satellite
- Modulation, error correction and TPC technologies
- Sensor networks



▲JC-SAT2011の会場となった名古屋大学ES館

二日間にわたるセッションでは、それぞれの講演について積極的な議論が行われた。

第一日目にはセッション終了後に名古屋大学内にてレセプションを開催した。レセプションにはJC-SAT2011参加者のほとんどに参加いただき、活発な意見交換が行われた。レセプションの際には、今回が2回目となるJC-SAT優秀論文賞の表彰が行われ、JC-SAT2011の技術委員会により選出された講演2件に対して、表彰状と記念品の授与を行った。受賞講演は以下の2件である。

NICT赤石明他、「Development of Optically Controlled Beam-Forming Network」
鶴岡高専 富樫洸他、「A Summary of TCP-Cherry for Satellite IP Networks」

3. 今後の予定

通例では、毎年のJC-SAT開催時に翌年のJC-SAT開催地や日程についての会合がSAT研、KOSSTの出席で開催されるのであるが、今回はイレギュラーな開催となったため、JC-SAT2012についての詳細は現在KOSSTと調整中である。

今後、開催日程やCall for PaperについてはSAT研ホームページ等を通じてご案内の予定である。■



▲レセプション